

會員よりのたより

時計ノ圖ニソヘテ

晝間ヲ赤、夜ヲ黒ニテ示シタルツモリ。(本誌表紙畫)

文字盤ヲ12割ヲ24割トスルコトハ一利一害アリ。

- (1) 時計機械設計ノ變更。
- (2) 分ノ目盛ヲ別ニ記スル必要ガ生ズル。
- (3) 文字ガ接近シ過ぎ從而字ガ小サクナル。

以上 (昭和17年七月6日)

尾道市 松 本 義 一

北 満 よ り

謹啓(前略)

私自身は此處で蒙古人やロシア人を相手に牛や馬や羊の仕事ばかりをしてゐる一介の貧しい技術者に過ぎませんが、子供の時から好きで難駁な天文學の智識に興味を持つて來ました。仕事の關係もあり、とても系統だつた勉強も出來ませんが、昨年來思ひ立つて、此の町で“子供の爲の天文講座”を開きたいと計畫して來ました。日・滿・蒙・露の少年達を集めて、星への憧憬と冥想を習慣づける爲の努力をしたいと思つたからです。

哈爾濱の友達の世話で、やつと“天體望遠鏡”も入手出来る情勢になりました。自分で作る事も考へましたが、出張の多い、多忙な日夜の生活がそれを許しませんので、多少づゝ貯へておいた金で方々に照會しておいた處、やつと一つ見つかつた譯です。近日中に出哈して實物を見て良ければ買いたいと存じてゐます。反射望遠鏡でないのが残念ですが、仕方ありません。

お願いと申しますのは、子供達に説明する爲に、出来るだけ豊富に天體寫眞を得たいと思ひます。貧弱な滿洲の書店では適當な書物が御座居ません。内地に注文し様にも現在何んな書物があるのかさへも充分には判らないのです。若しお願い出來ますならば、斯様な書物を數冊(出來ねば一冊でも)、それに子供が興味と感嘆と吃驚とを満喫する様な話し、例へば月の世界ではその質量に比例して物が軽くなるだらうとか、海王星發見の経緯とか、ベテルギユースの大きさについての比喩とか、云つた子供の興味がもてる様な話しの多く載つてゐる通俗天文學書を御紹介頂けますまいかと申す事なのです。

勿論、この試みの意義を思へば思ふ程、いゝ加減な興味本位の話しは止めねばならぬと思つては居りますが、話題を豊富にしておく事は、この場合私の責任だとも考へておりますし、亦これとは話しは異なりますが、宇宙についての觀

念、宇宙と人生との關連についての私の意見も、私の科學と人生への良心が許す範圍では語る事もいゝのではあるまいかと考へて居ります。昔し、多少は持つてゐた天文の本も、多くは四散して手許になく、三、四宇宙物理學に關する書物が残りましたが、趣味以外に出ない私には、荷の勝過ぎる勉強である儘に、そのまゝにしてゐる様な状態です。

それから御願ひついでですが、誰方かアマチュアで反射望遠鏡の可成りなものを御手持の方があつて、御分譲頂ける分でもありますならば、御紹介頂けると幸甚であります。適當な（私の經濟状態に於ての意味で、ですが）價格でありましたら、何とかして買ひ求めたいと存じて居りますので。

子供の相手の仕事は、比較的に出張の少い冬の間に主にしたいと思つてゐます。嚴冬の夜の寒さは辛いですが、空氣は綺麗で、夜の長い時期なので、寒氣がレンズに及ぼす害がない限り、却つて好都合だと思つて居ります。

昨日田舎から歸つて來ました。北の田舎では二回雪に降られました。十日に亦二週間の豫定で北のロシア人の部落に参ります。海拉爾は未だオ―バーで済みますが、北の方はもう毛皮外套が要ります。

一二年計畫で遊牧民である蒙古人の星座の名稱の調査をしたいと思ひ、その準備をして居ります。但し何の程度の成果が擧るか今の蒙古人の文化状態では甚だ疑問にも思へますが。（後略） 十月7日 ハイラルにて、桂 木 隆 夫

南 方 よ り

八月26日に出して下さいました。南十字星の繪葉書といつしよに天界第10號をいただきました。南十字の寫眞ではエプ星が、肉眼ではかなり明るいのに寫眞ではひどく小さいのおどろいてゐます。やはりあの光りは寫眞の感光には悪いのかなと考へてをります。私はこのごろ（南十字を見た最初からですが）

“南十字々々々と人口に膾炙してゐますが、あまりたいした星ではない、それよりも、もつともつと美しい星がたくさんにある。之れをオリオンと位置を入れかへたら、どんなに北半球の人々が南の空をあこがれるか、南十字の比ではない”とひそかに考へてゐます。之は南十字の評判に對する天邪鬼的な私の嫉妬かも知れないと、ひそかに苦笑してをります。そのためか、私は南十字よりも、こちらへ來て、はじめて全貌を知りました。小さな星々のみで形が出来てゐますが、南冠座の方へどれだけ心を引かれたか知れませんが。

こちらでは、南十字と北十字とよく比較してみることが出来ますが、その雄大さに於て、その均整さに於て、南十字は遠く白鳥十字に及びません。又、マゼラン雲は素晴らしいものだと思ふ感に深く打たれました。

このごろ、こゝは雨期なのか、夜、星の見える夜がありませんが、早く晴れた夜の來ますのをまつてをります。（下略） 馬來派遣 本 田 實